

ご近所の お医者さん

715

ふるかわ医院長 古河聰さん =箕面市



在宅医療の「三種の神器」

北摂で在宅医療の専門クリニックを開院して20年目になりました。今までに出会った患者さんは年齢も病気もさまざまでしたが、すべての患者さんに共通して必要なことが三つあります。

一つ目は「服薬管理」です。自宅に初めて訪問した時に、今までに処方された薬が指示通り

追加するので不要な薬がどんどん増えてしまします。

必要な薬を欠かすことなく適切に飲むことで、不要な薬を減らすことができます。また、一人暮らしの場合には、薬を朝食後にまとめて一日1回だけに

健健康支える「訪問診療」

に飲めておらず大量に余っていることがあります。処方薬は飲まなければ意味がないですし、医師はきちんと服薬されているだらうと思い、さらに薬を

するなど、飲む回数を減らして服薬しやすくすることも工夫の一つです。

二つ目は「リハビリテーション」で

す。今動けている方でも寝たきりの方でも、身体を動かすことは健康を維持するために欠かせません。通所リハビリだけでなく、療法士が自宅にやってくる訪問リハビリもあるので、その人に適した選択が可能です。

三つ目は「口腔ケア」です。口の中

が清潔でないと健康に良くないです。食事もおいしく食べられません。身体の保清や排せつのケアに目がいきがちですが、歯みがきなどで口の中を清潔に保つことは健康維持にも欠かすことができません。義歯が合わないなどの治療が必要な場合には、「訪問歯科」の利用をおすすめします。

最後に、患者さんもご家族も元気で

いたいといふ強い気持ちから、リハビリテーションを希望されることが特に多いのですが、「訪問看護」の必要性をあまり感じていない方が多数いらっしゃいます。看護師は日々の健康状態を観察して体調の変化にいち早く気付き、家族や医師に報告してくれる大切な存在です。日々変わらなく健やかな生活を続けるために、「訪問看護」が非常に役に立つことをぜひ知っておいていただきたいで